

町民の財産を守り育てる
共和町有林で町民植樹祭を開催！

5月8日、町民の財産である森林を守り育てるとともに、緑化や環境意識の高揚を図ることを目的に、共和町有林で町民植樹祭が行われました。

役場前で行われた出発式では、佐藤多一町長が「森林セラピー基地としての認証を受けたので、植樹をして津別町をアピールしていきたいです」と挨拶しました。

今年の植樹祭には110人の参加があり、雨も降らず、作業しやすい環境で行われました。400本のカラマツを1人4本ずつ植樹し、作業は約1時間で終了。参加者全員の植樹が終わった後、記念標柱を立て、苗木の成長を願いました。



記念標柱を立てて、記念撮影

宇宙に届け！手作りロケット！
後援を受け、モデルロケット教室開催

5月16日、宇宙ロケットの開発に取り組んでいる植松電機（赤平市）の植松賢重務を招き、モデルロケット教室が開催されました。

教室には、津別小学校の6年生が40人、活潑な小学生の5・6年生が10人参加し、「宇宙ロケット開発」をテーマにした講話を聞いた後、実際にロケット作り挑戦。手作りのロケットは青空に向けて飛ばされ、児童からは「自分が作った飛行機が飛んでいくのを見て、感動しました」と喜びの音が聞こえました。



3・2・1の掛け声でロケットが発射します

また、5月17日には津別ライオンズクラブ（石橋宗司会長）が町長室を訪れ、学校教育の一環として、ロケット教室に10万円の寄附、青少年育成事業の一環として、児童館で使用するアクアプール一式（10万円相当）の寄贈をしました。

石橋会長は「ロケット教室等を開催し、楽しみながら知識をつけてほしい」と寄附・寄贈への思いを話され、佐藤多一町長は「有効に活用させていただきます」とお礼を述べました。



患者を火災から守る

津別病院で避難訓練が行われました

4月26日、春の火災予防運動にあわせ、津別病院（相沢誠院長）で患者を火災から守る避難訓練が行われました。

訓練は、4時40分に1階リネン室からの出火を想定し、担架や毛布を用いて患者を安全な屋外へ速やかに避難させました。その後、駐車場まで消火器の使い方を学ぶ訓練も行われ、緊急時の対応を確認しました。

訓練に対し、大野功二消防所長から「患者を避難させている時は、自分もケガをしないよう、落ち着いて行動しましょう」と評価があり、相沢誠院長から「全員安全な場所に避難させることを目標に頑張りましょう」と訓示が述べられました。



訓練は、4時40分に1階リネン室からの出火を想定し、担架や毛布を用いて患者を安全な屋外へ速やかに避難させました。その後、駐車場まで消火器の使い方を学ぶ訓練も行われ、緊急時の対応を確認しました。

townics

まちのわだい

町をきれいに！道路クリーン作戦
520kgのゴミを回収

5月30日の「ごみゼロ運動の日」に先駆け、津別町と津別町環境衛生推進協議会主催の道路クリーン作戦が5月7日に行われました。

道路クリーン作戦には、町民約100名の協力を得て、ふれあい公園パークゴルフ場から美幌町との境界までの町道3号線を数人に分かれて、沿道にあるゴミを拾いました。

例年通り、空き缶、ペットボトル、タバコの吸殻が多く見られましたが、中にはタイヤや家庭ゴミが入ったゴミ袋を捨てる心無い不法投棄もありました。



ゴミの量は520kgと昨年に比べて減少はしましたが、ごみゼロを目指し、皆さんのご協力をお願いします。

津別高校で全校生徒111人による町内清掃ボランティアが5月6日に行われました。

午後からクラスごとに分かれ、学校周辺道路や国道240号線沿いの空き缶、ペットボトル、タバコの吸殻などを1時間程度拾い、5袋分のゴミを集めました。

この活動は、昭和58年から続けられていて、今年で29回目になります。生徒数が減り、ゴミを拾う範囲が狭くなりましたが、ボランティア局長を始め、多くの生徒が真面目に拾っている姿が見られました。



町内清掃ボランティア
津別高校生がゴミを回収

建設産業団体が交通安全旗を寄贈
町内の学校周辺に設置

4月21日、建設産業交通安全推進網走地方本部美幌支部（蓮井和一支部長代理）が教育委員会を訪れ、子どもの交通事故が少なくなることを願い、交通安全旗80枚を寄贈しました。

交通安全旗は子ども達の目に留まるようなイラストにリニューアルされ、活潑小中学校、本岐小学校、津別小学校、津別中学校の周辺に設置されます。

今回の寄贈にあたり、阿部博道教育長は「地域の皆さんから支えられて、町の交通事故が少なくなっていることにとても感謝しています」とお礼を述べました。



子ども達に自然の楽しさ、大切さを学んでもらうべく、ロープを使って木登りをするツリーイング体験会（津別「げんきの森」利用推進実行委員会主催）が、5月15日、21世紀の森キャンプ場で開催されました。

木登り体験は、午前と午後の2回に渡って行われ、21人の子も達が高さ20mほどの木に挑戦しました。苦戦する子どもやアツという間に頂上へたどり着く子どももいて「頂上からは小学校が見えます」。怖かったけど楽しかったです」と木登りの楽しさを体感しました。



自然の楽しさを体で学ぶ
ツリーイング体験会が開催

オホーツク絆プロジェクト
ロマンス製菓が被災地を支援

オホーツク管内で、東日本大震災の被災地を支援する「オホーツク絆プロジェクト」の実施にあたり、5月19日、ロマンス製菓（松田一生代表取締役）が被災地へ、北国の旅路（ハワイトコロレート）220個（16万円相当）を提供しました。

提供された菓子は、他市町村の支援物資とともに、被災地の避難所へ配布されます。

松田代表取締役は「学生のころ盛岡に住んでいた経験があり、わずかな気持ちでも被災地に届けていきたいです」と提供に至った経緯を語っていただきました。

